

中国人の民族意識：どこからくるのか？どの程度の影響があるのか？

中青在線 20120912 (水)

中日の釣魚島紛争は、また民族意識のうねりを引起した。中国人の民族意識はどの程度なのか？中国の社会と政治にどのような影響があるのか？この問題について西側の学者は、様々な角度から分析を行っている。

文献を主に分析した学者は、中国の民族主義者の著作（例えば、「中国可以說不（中国は拒否する）」「中国不高興（中国は不満だ）」等の著書）及び一部の民族主義者の起こした事件（例えば、1999 年の反米デモ、2005 年の反日デモ等）に焦点を当てて分析している。この前に紹介した胡可礼の論文（「青年参考」20120315 P-2 参照）は、4 本の民族主義者の著作から説き起こし、中国民族主義が地縁政治と結びついているとの観点で論述している。

そのほか、オクラホマ大学ピートグリズ教授は、数年前に出版した著書の中で、中国の出版物、新聞報道乃至デモのスローガン及び標語の中の民族主義的表現を総合的に分析した。その結果、中国人の民族主義とは、一種の”面子民族主義”であり、常に”他者”との関わりの上に成り立っていると述べた。”他者”の中で最も重要な 2 国が米国と日本である。同教授は、「中国人は、”勝利者”及び”受害者”という言い方で米中、及び日中間の過去の歴史及び現代の摩擦を規定し、その中から中国人の民族意識の源泉を汲みだし、もって国家と自身の”面子”と尊厳を守ろうとしている」と述べた。

デラウェア州立大学の程映虹教授は、一般大衆の民族主義的表現を重視している。彼は、流行歌やテレビドキュメントを含む中国の流行文化を媒介する言葉を分析した。彼によると、中国の民族主義の実質は、”種族民族主義”であり、その現代における発端は 1980 年代の「龍の傳人」中における中国人の人種的叙述：すなわち黒い目、黒い髪、黄色い肌に遡及することができるとした。彼はさらに、張明敏、王力宏、謝霆鋒、SHE 等の歌う歌詞を分析し、「歌曲の内容が、国家、民族、漢族の特徴に触れると中国人の心を動かし（情感に訴える）、それが最も有力な言葉となる。通常は、連綿と続く中華文明の下で中華民族が外部から受けた苦難と本来の美德を際立たせ、種族の抱負と期待を明らかにしている」と述べた。

グリズと程教授が表現を重視する理由は、彼らが主として文化の角度から中国人の民族意識を分析しているからである。しかしこれは、中国の民族意識が結局どのような影響力を持っているか？の問には答えていない。この問題に対し

てアイオワ大学の唐文方教授及び LORAS COLLEGE のベンジャミン・ダル教授は、大規模な社会調査を行って中国人の民族意識の分析を行った。彼らの意見は：中国人の民族意識の根源は文化的要因にあるのではなく、社会と経済がその原因であるとした。

彼らは、2008 年に 3000 名以上の被験者に対して調査を行い、まず最初に中国人の国家帰属意識の高低を分析した。比較しやすくするために、研究者は、2003 年に初めて国際的に行われた”国家帰属意識”調査で使用した設問と解答方法を採用した。設問回答者は、四者択一方式で語句を選択した。調査結果によると、中国人の国家帰属意識の高さは平均 80%に達した。2003 年の調査では、最高の米国で 76%であった。結局、2003 年に調査が行われた 35 個の国家（及び地区）に比べると、中国人の国家帰属意識は最高レベルであった。

唐及びダル教授が民族意識と中国人社会の特徴の相関性を分析した結果、次のことが判明した：教育程度と民族意識の高低は、逆 U 字型を示す。すなわち民族意識が高い回答者は、学歴が小学又は中学卒で、全く教育を受けていない者及び高等教育を受けた回答者は、民族意識が低かった。収入の面から見ると、収入が低い回答者ほど民族意識が高かった。都市化の影響から見ると、都市に移住した新たな移民（農民工）の民族意識は最強であった。農村の住民は中間で、都市の住民は最も低かった。政治的な身分から見ると、共産党員の民族意識は非党員に比べ高かった。

（少数）民族について、回答者の民族意識は高く、しかも各民族間でおおむね差はなかった。

年齢の面から見ると、1931 年から 1959 年生まれの回答者（論文では”社会主義世代”と”文革世代”と称する）は、改革年代に成長した回答者に比べ、民族意識が高かった。同時にこの結果から次のことが判明した。すなわち民族主義に基づいた活動に熱心に参加する”憤激する青年達”は、實際上、民族意識に欠ける中国の若者群の主流ではないことが分かった。

最後に、研究者は、これらの相関関係を分析し、回帰直線方式で中国人の民族意識の効果を測定した。その結果、民族意識と民主改革意識、専制意識等の政治問題は正負の関係にあった。中国人の民族意識の高い者は、通常、民主改革を支持せず、資本主義に反対し、強権政府の統治を希望することがわかった。

データ分析の結果、唐及びダル教授は、中国大衆の民族意識の広がりには世界最高レベルであると認定した。中国の都市化の進展と教育レベルの向上は、今後民族意識を減じる可能性がある。民族意識の高潮は、現政権の安定性と合法性確保に顕著な効果があるが、民衆の政治の自由化要求を抑圧することになる。そのほか、民族の違いにより民族意識の高低に差が無いので、作者は、中国人の民族意識は、多くの学者が指摘するように文化と伝統の内面に根源があるとは考えない。

（本稿の言論は本誌の観点を代表せず、参考記事である。文章は一部削除した。）

以上